

No.145 2016 OCTOBER

平成28年10月21日発行



愛と復興

役場庁舎建設、不落・不調の検証 …… 2

**27年度決算不認定
(一般会計)** …… 4

9月会議「三小学校の将来を考える」… 8

町を育てる道路「八十里越」…… 12

一般質問 (7人の議員が登壇) …… 15

発行：福島県南会津郡只見町議会

編集：只見町議会広報広聴常任委員会

〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字町下2591番地30

TEL. 0241-82-5300 FAX. 0241-82-5222

E-mail: gikai@town.tadami.lg.jp

議会だより

只見



三石神社への祈り

特別委員会

町議会の意見

1億2000万円

今年6月調査特別委員会を設置して進めてきた役場新庁舎建設の入札不落・不調の議会検証が終わりました。過去の会議録をもとに問題点を洗い出し、町当局の説明を求めながら調査が進められました。9月会議の委員長報告を要約してお伝えします。

検証1
競争のない
一者入札

町は、昨年6月第一回目の入札に当たり共同企業体方式（JV）を採用。共同企業体五者を指名したが、参加企業体は一者であった。福島県のルールでは、参加一者の場合「入札を取りやめる」と定めているが、入札はその一者で行われ、結果は「不落」となった。公共事業としては競争性のない極めて不適切なやり方で、町長は参加一者の時点で入札を取りやめる措置を当然取るべきであった。

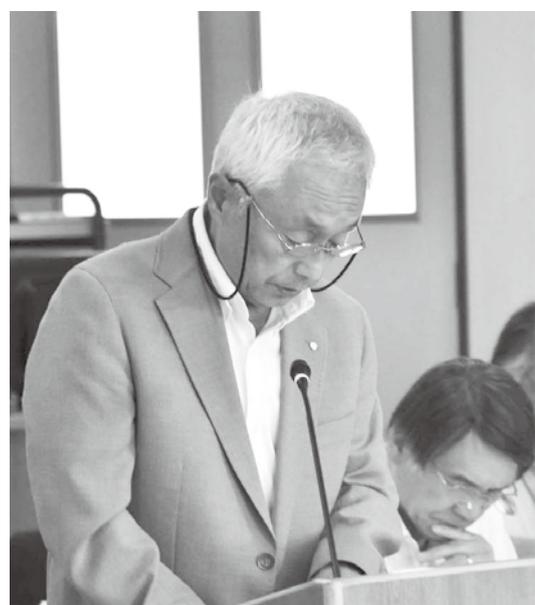


特別委員会審議状況

福島県「工事競争入札心得」で定める他、公共工事の入札に関しては、各法律で公正な競争を行うことが担保されている。

検証2
設計変更は
厳しい

入札不落后、設計者と議会の協議が行われた。「14億円以内で出来るのか？」との議員の質問に対して、「価格の上昇が読みきれない。1億円から1億5000万円の安全率が必要。白紙も選択肢だ。」と答弁している。これは、設計変更を進めてみたが、労務単価や資材費の高騰（グラフ参照）で14億円以内に収めることは厳しい、ということである。だが、町はあくまでも予算内に収める



審査報告をする酒井右一委員長

検証3
支援コンサルの
業務検証

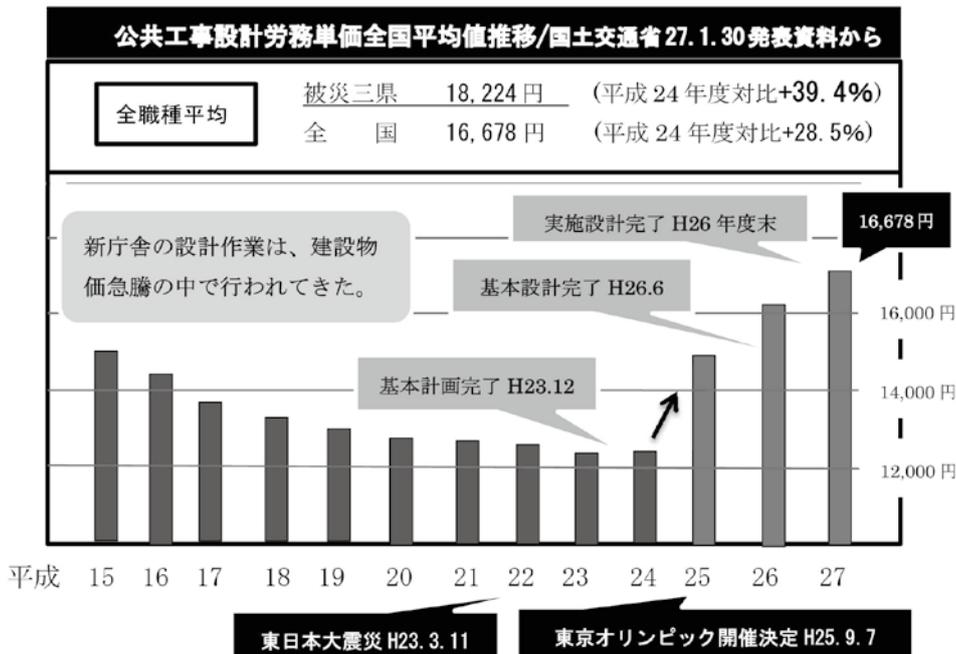
庁舎建設事業は、設計者と町との中間に事業全般を指導する「オーナーズコンサルタント」を置き進められてきた。入札不落后、このコンサルタント代表は、「中間に立つべき存在として役割が十分でなかった。二度目の入札は何がなんでも予算内に収める。」と答弁したが、二回目も応札者がなく入札不調であった。特別委員会では、支援業務受託者としての責任が果たせたのかを疑問とし、町が委託業務完了を認定したのは不適切だとした。

よう指示。この発注側の思いと設計者の現実の相違が次の入札不調の原因になったとの指摘も出された。

役場庁舎建設

貴重な税を失う その額

労務単価推移グラフ



検証 4

無償の業務契約

第一回目の入札は 4億9000万円もの

かい離で不落となった。本来この時、町は十分な検証と議会との協議を行い、次に進むべきであった。しかし、町当局は不落後、予算措置のない設計変更業務に着手し、本会議や

一般質問で不適切との指摘が相次いだ。特別委員会は、福島県ではこのような無償の業務委託事例はないことを確認している。

調査経過

平成28年6月17日 第1回会議／原因調査特別委員会設置

6月29日 第2回会議／庁舎建設経過確認等

7月15日 第3回会議／各委員提出の課題の検討

8月1日 第4回会議／当局との質疑

8月10日 第5回会議／当局との質疑

8月30日 第6回会議／調査報告案検討終決

庁舎建設に係る設計などの委託料は 1億2000万円にも上る。これは年間の町民税にも相当する規模である。14億円の庁舎建設予算が執行されず減額されたことは、成

検証 5

事務・予算管理は不適切

果のない予算支出で貴重な町費を無益に失うことになり、庁舎建設に係る事務事業は当初の目的を達成できなかった。議会は、公務執行上極めて不適切なやり方だとして「申し入れ書」を提出した。しかし、町はこれを受け入れず、議会の監視機能は果たされない結果となった。

決算審査

あらまし

9月会議は、6日から16日まで開催されました。平成27年度の決算審査が主な審議で、事業効果などについて、決算特別委員会を設置してその審査が行われました。その結果、平成27年度の重要な事業である庁舎建設事業の予算が適正に執行できず、財政運営が不適切との理由から、一般会計は不認定となりました。

特 徴

平成27年度一般会計決算の特徴は次のとおりである。

- (1) 一般会計の実質収支は1億1900万円の黒字となった。内、6000万円を財政調整基金へ積み立て、財政調整基金残高は、12億5347万円となった。
- (2) 最大の財源である地方交付税は26億6800万円で前の年より減額となった。人口減少と国の財政難の中で今後の推移が注視される。
- (3) 23年発生の豪雨災害



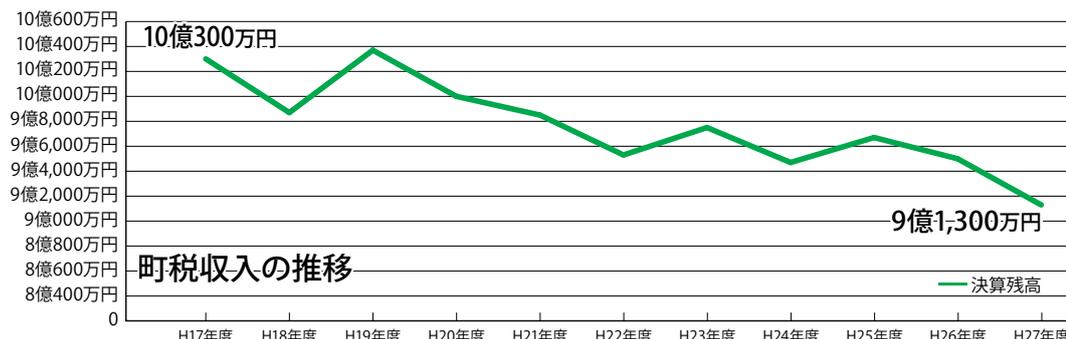
決算特別委員会審議状況

復旧工事が終息したことによって国からの支出金が大きく減額となった。反面、災害で失った集会施設の整備や除雪機械の更新と、今後本格化する少子化対策のための「基金」が造られるなど、前年より増額決算となっている。

主要事業

いる。なお、財政健全化法により義務づけられた財政指標は、国の基準をクリアしている。

平成27年度は、第6次振興計画を引き継ぐ第7次振興計画が策定され、今後10カ年の町の方針と基本計画が示された。なお、国が少子化対策で各市町村まで策定を求めた「総合戦略」も示され、今後、少子化対策が具体化していく。27年度に予算議決した庁舎建設事業費14億円は、二度にわたる入札の不落・不調で予算が執行できなかった。





一般会計決算

庁舎建設事業予算執行できず

監査委員からの意見(要約)

1) 庁舎建設事業

当初予算に計上された14億円が執行できなかったことで、今まで支出した委託料と合わせ効果は客観的にゼロだとして、反省・改善を求める。

2) 第7次振興計画

計画した事業を推進するための財源確保と計画内容の住民への説明・周知を求める。

3) 財政調整基金

今後、福祉財源としての活用検討を求める。



町の宝、元気な子どもたち（只見保育所運動会）

平成27年度各会計決算の議決状況（千円以下切り捨て）

会計名	歳入	歳出	議決の内容	賛否	
				認定	不認定
一般会計	66億4413万円	63億2774万円	原案不認定	1 藤田	10
国民健康保険事業特別会計	6億3408万円	6億3405万円	原案認定	10	1 山岸
国民健康保険施設特別会計	4億5334万円	4億5265万円	原案認定	11	0
後期高齢者医療特別会計	1億3587万円	1億3587万円	原案認定	10	1 山岸
介護保険事業特別会計	6億4719万円	6億3346万円	原案認定	10	1 山岸
介護老人保健施設特別会計	2億4346万円	2億4346万円	原案認定	11	0
訪問看護ステーション特別会計	1227万円	1227万円	原案認定	11	0
地域包括支援センター特別会計	974万円	974万円	原案認定	11	0
簡易水道特別会計	3億4677万円	3億4653万円	原案認定	11	0
観光施設事業特別会計	4643万円	4643万円	原案認定	11	0
交流施設特別会計	8705万円	8705万円	原案認定(注)	11	0
集落排水事業特別会計	3億2745万円	3億2688万円	原案認定	11	0
朝日財産区特別会計	1121万円	44万円	原案認定	11	0

(注) 木質バイオマス施設整備については、資源の調査結果や費用対効果を踏まえ、慎重に検討されるよう意見を付して認定した。

特別委員会 質疑応答

三セクの改革は慎重に

第三セクター 検討委員会

問 湯ら里の評価として、当初の建設目的である地産地消、地元雇用優先などの考え方を否定する報告内容が見受けられる

答 が、町当局はどう受け止めたか。報告後、対策には至っていない。社会環境の変化で改めて三セクの在り方は慎重に検討しなければならぬ。

弁護士委託料

問 集団訴訟を含む216万円の当初予算。決算額は54万円だが、その差額の説明を。

答 27年度は着手金。残額は28年度に繰り越している。

コミュニティFM局開設調査

問 開設へ向けての調査委託なのか。

答 予算は調査委託料だが、その結果を踏まえ、まだ進んでいない。

JR只見線全線 開通事業補助

問 町外から来られるお客様への補助の検討も必要では。

答 27年度の町民利用は延べ2000名。今後は町外へ向けた事業も考えたい。

出会いの場づくり 事業委託

問 カップル成立の実績は。

答 27年度の実績はないが、この事業で知り合い結婚に至った事例もある。今後、県支援センターの情報も取り入れていきたい。

個人番号カード 事務委託交付金

問 歳入に対して町の持ち出しが大きい。今後セキユリティ等町の負担が続くのでは。

答 国の補助率の関係もある。今のところ大きな負担はない。

福祉交通運行 事業委託

問 買い物利用で始まったが、診療所利用が大半を占めている。住民ニーズにあったように今後検討していくのか。

答 これが完成形ではないので今後検討を加えていく。

老人クラブ運営補助

問 団体数減少の原因は。

答 現在交付が18団体。申請様式の簡素化など、サポート体制はとっている。

あさくさホーム運営

問 介護保険法の改正でどう影響があるのか。

答 今度の法改正では、施設収入が減り運営は厳しい見込みとなる。



只見地区敬老会の一コマ

決算 審査

特別委員会
質疑応答

多子世帯の 保育料の無料化を

問 町の人口が減少してもごみ量は減らず負担金は増加しているが、何が原因か。

環境衛生組合負担金

答 総合的な検討をし、合意の得られるものから実施したい。

問 子育て支援の視点から、第三子からの保育料無料化の検討を。

多子世帯保育料軽減補助



未来ある子どもに十分な支援を

答 昔と今の生活様式の違いが大きいと思われる。今後減量対策に知恵を出していく必要がある。

キノコ出荷制限解除（モニタリングサンプル）

問 野生キノコの出荷解除は、今のルールで4年後の解除は実際可能か。

答 県が予算措置をとり、3年後の解除を目指す。

森林の分校ふざわの集客実績

問 利用客が多くなっている。お客様のためのトイレ、駐車場、看板の整備などすべきだ。

答 27年度の利用実績総数は4300人、宿泊は1300人となった。今後エコパーク体感施設として重要であり、検討しなければならぬ。

なら枯れ対策

問 なら枯れ対策が急がれるが、27年度の実績と今後は。

答 只見向山地区を今年も実施するが、まだ根本的な解決には至っていない。

観光開発審議会

問 観光施策の転換期に来ている。検討中の計画など条例

答 で定める「観光開発審議会」に諮り、平たく情報を提供し実現を図るべきだ。

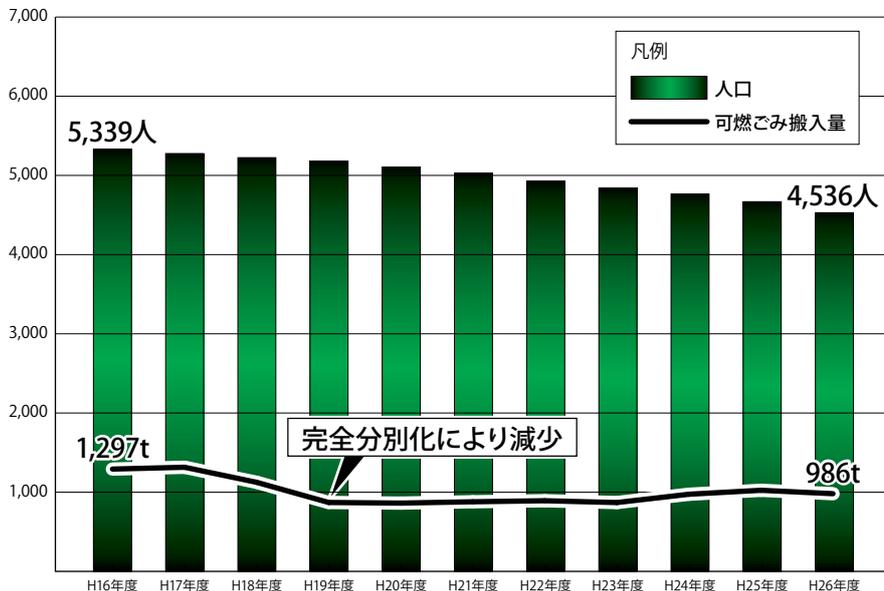
答 審議会に諮るべく準備段階にある。

スクーールソーシャルワーカー

問 27年度の不登校などの対応は。

答 ソーシャルワーカー、子ども、学校、教育委員会連携で対応している。

只見町の人口推移と可燃ごみ搬入量 (単位: t / 人)



正算 補予

補正の目玉

三小学校の今後を真剣に話し合う

在り方検討懇談会はじまる

三小学校の将来を考える



明和小学校運動会の様子

少子化が進む中、今後の小学校の在り方についての話し合いがはじまります。その委員報酬を定める条例改正案が可決されました。

冬の安心 除雪予算増額



雪国の暮らしを支える除雪作業

町民の冬の暮らしを守る道路除雪予算。9月補正予算で8700万円が増額補正されました。補正予算は、毎年地方交付税が決定するこの時期に補正提案されます。

表紙の写真



9月の祭礼に併せ開催される三石神社まつり。只見町商工会青年部が地域の魅力を発信しようと長年取り組んでいる活動です。祭礼の朝、こめらを集め三石神社の縁起を教えまます。無数に開いた穴に「こより」を通せば良縁成就。こめらも大人も真剣です。



9月会議に提案された一般会計補正予算は、山岸議員からマイナンバー委託料に反対討論が出されましたが、賛成多数で原案の通り可決しました。

学校給食センターの備品購入



小学校の給食風景

学校給食センターの調理器具であるスチームコンベクションオーブンが経年で老朽化し、更新2台分の予算753万円が提案され議決されました。

河井継之助 テレビ番組広告料



町指定史跡 河井継之助の墓

河井継之助没後150年を記念して新潟テレビ21で番組が制作されます。その番組制作広告料108万円が可決されました。



只見線活性化対策協議会只見線応援キャラクター「キハちゃん」

JR只見線再開 通事業補助金

200万円

問

各種団体が利用しているが利用実績は。

答

27年度2100人、54団体。今年は、現在1083人、30団体。

教育委員会 公用車リース料

30万円

問

公用車リース料について、買い取り予算もあるがどう区別しているのか。

答

地域おこし協力隊が利用するもので、国の補助制度の中でリースが対象となる。

保健事業 検診委託料

101万円減額

問

予算の減額だが、受診率ほどどのくらいか。

答

多少余裕のある予算を計上したが、受診率は58.7%で前年より6%上昇している。

奥会津学習センター 備品購入費

1,400万円

問

今後の発注の考え方を伺う。

答

町の業者も含め財務規則にのっとり執行する。

宿泊・飲食事業 持続化創業 支援補助金

1,175万円

問

不適切なものは返還命令を求めらるくらいの厳しい審査で対応すべきだ。

答

平成27年度は5件、28年度は7件で、今まで12件の実績が出ている。なお、効果・結果を検証し対応する。

委員会 リポート

総務厚生常任委員会

高齢者の 就業支援に向けて

山形県小国町・朝日町のシルバー人材センターを視察した。朝日町シルバー人材センターは、平成7年、町と社会福祉協議会が中心となり設立され、現在は一般社団法人として法人化している。当町でも高齢者の就業支援を目的に設立が検討されてきたが、現



「山形県朝日町」視察調査状況

在まだ結論に至っておらず、今後委員会としても視察結果を踏まえ検討していく。なお、川西町のデマンド交通の実態も調査している。



現地調査状況（白沢水道）

経済文教常任委員会

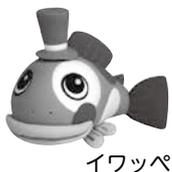
集落水道の あり方を考える

黒谷区「集落水道の町管理」「天堂沢の改修」の2件の陳情審査を含む現地調査を7月21日に行った。集落の実態等を考慮し、早急な実現を目指して取り組むべきと確認した。なお、集落水道につ

いては、昨年度「布沢区」「塩ノ岐区」「坂田区」から給水施設整備支援と受益者負担金軽減についての陳情を議会において「採択」しており、今後町当局には早急な対応を求めていく。

また「いわなの里」の運営状況を視察した。当地域は、ユネスコエコパークの重点地域でもあり、今後行政ができる支援策を早急に検討協議すべきと考える。

「いわなの里」が
リニューアル
オープン！



「議会だより」 視察受け入れ

只見町議会だより 7月11日

139号が第30回町村 宮城県栗原市議会

議会広報全国コンクー 9名

ルで「言語・文章部門 8月23日

奨励賞」を受賞したた 山形県白鷹町議会

ため、3市町の議会広報 5名

委員の視察研修を受け 8月31日

入れた。 茨城県牛久市議会

6名



視察対応状況（栗原市議会）

議会広報は「いかに

してわかりやすく伝え

るか」が共通の課題で

あり、それぞれの議会

での取り組みについて

意見交換した。

只見町議会では編集

マニュアルを作成し、

毎号マニュアルに沿っ

た編集を心がけてい

る。このマニュアルが

大変わかりやすく良

い、という感想をいた

だいた。

当委員会は今後も引

き続き、読みやすく伝

わりやすい誌面づくり

に取り組んでいく。

南会津議員大会

只見町議会から 重点要望3件



只見町からの要望提案

7月6日に檜
枝岐村「東雲
館」において、
南会津地方議会
議員大会が開催
され、只見町議
会からは次の3
件について要望
し、要望通り決
議されました。

①河川流水占用料の関
係町村への還元交付

河川法により県が
徴収している河川流
水占用料の一部を流
水発生地域に配分
し、地域固有の自主
財源として活用でき
るようにすること。

②県道2路線の早期改
良整備と通年通行確
保

「県道小林・館ノ
川線」の拡幅整備を

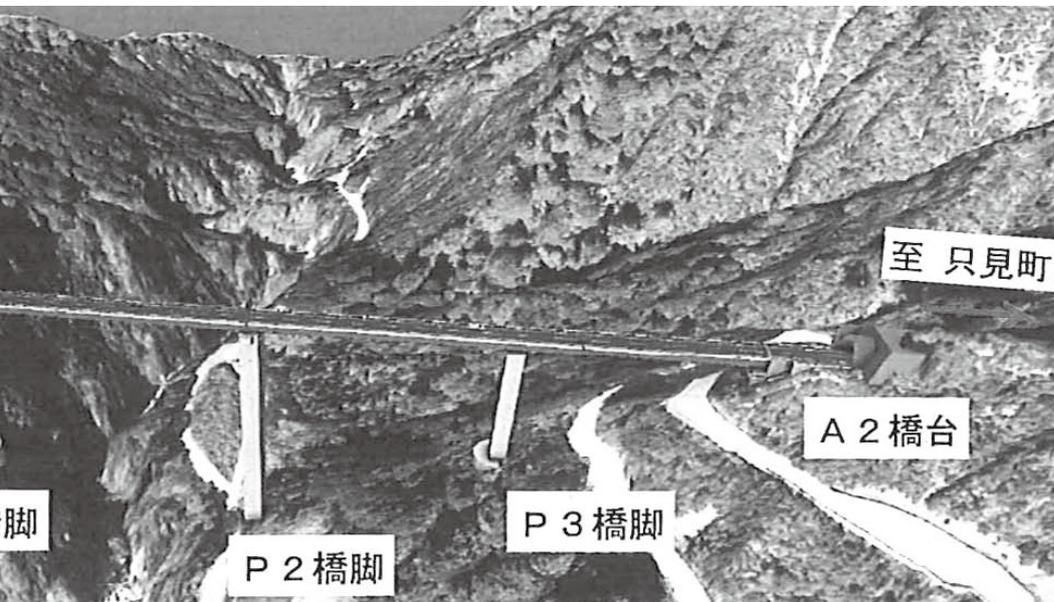
含む危険対策及び通
年通行確保に向けた
本格整備の早期着工
と「県道布沢・横田
線」のトンネル化に
よる通年通行確保。

③JR只見線の早期全
線復旧

只見町及び会津地
方の観光産業、経済
発展のためJR只見
線の早期全線開通を
強く要望する。

早期の暫定共用要望

5号橋梁着手(新潟県側)



5号橋梁完成イメージ図

国道289号は、福島県の南部を横断し日本海と太平洋を結ぶ県内重要道路路軸の一つで、交通不能区間の20.8km、通称八十里越（福島県入叶津から新潟県三条市下田）の改良工事を国土交通省、福島・新潟両県で進めています。7月26日、三条市で行われた総会で事業説明があり、国土交通省より総事業費635億円に対して今年3月現在事業進捗率74%の説明がありました。

国・県・市町 連携したイベント

平成24年度より三条市、只見町、新潟県、福島県、長岡国道事務所が連携して住民とのイベントを行っていきます。平成28年度も日本列島縦断R289フルコース踏破、只見・下田商工会八十里越交流事業として、工事の進捗を視察するツアーなどが予定されています。住民の関心、盛り上がりで早期開通実現に大きな効果をもたらします。

開通見据えた 調査事業開始

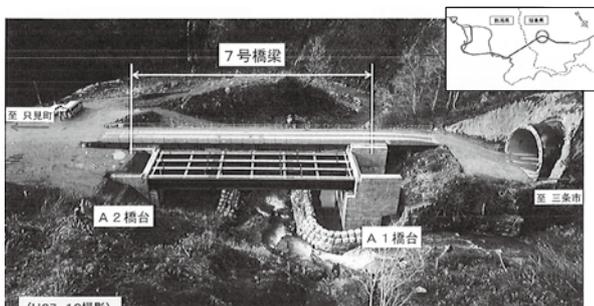
本期成同盟会会長（国定三条市長）から、新潟大学との包括連携で八十里越調査研究を行うとの報告がありました。具体的には開通後、住民の生活にどのような変化が出るかなどの調査を今年秋にも着手し、それらをもとに開通後に向けた地域づくりが進められる予定です。

高さ15メートルの 5号橋梁に着手

平成28年度の新潟県側主要工事で、延長337mで一番長い5号橋梁に着手したとの説明がありました。谷底から桁までの高さが115mで完成後は日本を代表する高い橋となる見込みです。

福島県側33メートルの 7号橋梁に着手

平成28年度の福島県側主要工事で、県境トンネル入口の7号橋梁に着手したとの説明がありました。災害の影響もありましたが、本格着手となりました。



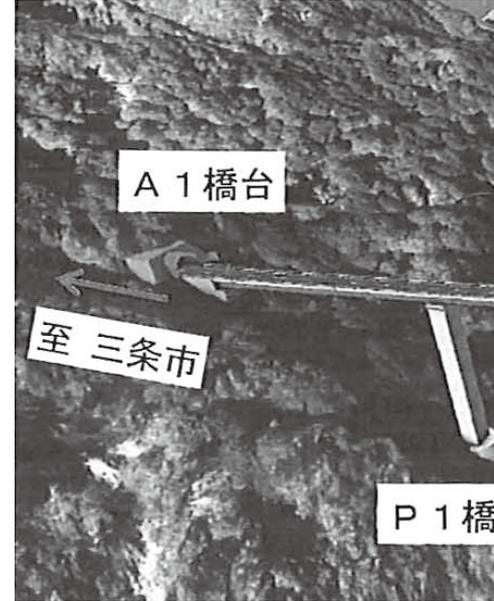
7号橋梁（福島県側）

国道289 八十里越

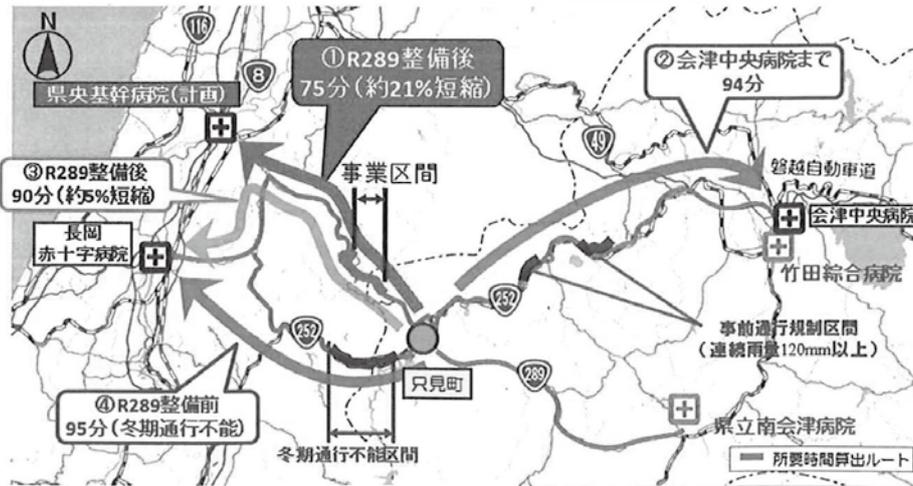
町を育てる道路 最大高さ115メートルの



R289 フルコース踏破の一コマ



救急医療や高度医療機能を有する病院への所要時間が短縮されます。



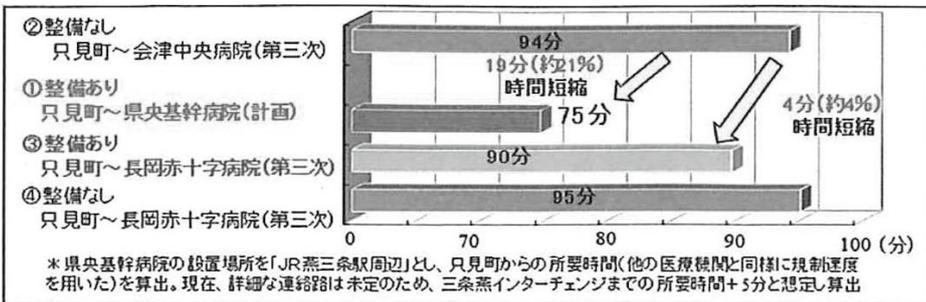
救急医療施設まで
アクセス向上

整備後は、計画されている新潟県央基幹病院まで只見町から75分程度で行けるようになります。会津若松市の病院へ行くよりも20分

町民・市民の
交流が促進

現在の通行不能区間
ほど時間短縮できるとの説明がありました。町民の「命の道」として大きな役割を果たします。

が解消し、通年において三条市と只見町間のアクセスが確保されれば、交流促進と併せて、町の活性化に期待が寄せられます。



8月
会議

否決

役場庁舎
暫定移転含む
補正予算

8月会議は8月1日に開催され、林道黒谷線の工事請負契約、除雪ドーザの財産取得議案を原案の通り可決しましたが、一般会計補正予算は否決しました。この内容について詳しくお伝えします。

一般会計補正予算には次の内容が提案されました。

・庁舎改修設計等委託料

・駅前チャレンジシヨップ

・河井継之助記念館物件移転

・田子倉観光補助金

・防災無線パンザマス
ト工事

・明和小学校体育館改修

このうち、駅前チャレンジシヨップ予算と田子倉観光への補助金については、まだまだ審議が尽くされたとはいえない状況である。

り、一般会計補正予算は否決しました。しかし、補正予算の中身には重要な内容もあったため、再度議案内容を検討され、提案されるよう求めましたが、受け入れられませんでした。



昨年改修された田子倉レークビュー

工事請負契約を議決

林道災害復旧工事（黒谷線5号箇所）

契約金額 …………… **5,906万円**

契約相手 ……(株)南会西部建設コーポレーション
南会津本社

財産取得を議決

除雪ドーザー …………… 1台

契約金額 …………… **2,114万円**

契約相手 …………… コマツ福島(株)会津支店

監査委員の選任を同意

引き続き山内幸三氏（布沢字沖ノ原）が満場一致で選任同意されました。



航空写真による黒谷ゴムダムの様子



一般質問

- **大塚純一郎** 16
 ・庁舎建設に係る町長責任は
- **新國 秀一** 17
 ・次期町長選の進退は、他
- **鈴木 征** 18
 ・庁舎建設経過を町民に説明すべき
- **藤田 力** 19
 ・ふるさと納税企業版への取り組みは、他
- **鈴木 好行** 20
 ・U・Iターン希望者への情報発信は、他
- **山岸 国夫** 21
 ・福祉商品券の復活を、他
- **目黒 道人** 22
 ・庁舎建設だよりの表現は適正か

一般質問とは

議員が行政全般(役場の仕事全般)に対して、方針をただしたり政策の提言などを行うことです。

町政を問う

町を想い7名が

庁舎建設に係る 町長責任は

答 反省すべきことはある



おおつかじゅんいちろう
大塚純一郎議員

問

目黒町長が、8年間取り組んできた「まちづくり」の評価を問う。

様々な政治公約を掲げて取り組んでこられたが、具体的な成果が見えない。

答

町が抱える課題解決に向け、様々な事業に取り組んできた。平成23年発生の大震災や豪雨災害からの復旧を最優先に取り組んできたが、少子高齢化に歯止めがかかっていない現状だ。

問

只見町の「観光」の将来像を問う。平成26年6月「ユネスコエコパーク」登録認定され、2年以上経過するが、「観光の只見町」としての本来の姿が見えてこない。

今後の観光交流人口拡大のための具体策を問う。

答

町は「自然首都・只見」を宣言し、豊かな文化や自然資源を生かした観光振興に取り組んできた。その後、「ユネスコエコパ

問

8月12日発行の「只見町庁舎建設だより」で、議会との協議や予算提案を町民に知らせるなら、審議検討された事実のすべてを書くべきだ。自分の都合の悪いことを書かないのでは、あまりにも卑怯なやり方だ。審議検討が尽くされていない議案を役場庁舎暫定移転予算と一括提案し、無理やり通そうとするやり方は、あまりにも横暴で無責任であり、町民を裏切ったやり方だ。町長としての責任をどう感じているか。

答

反省すべきことはある。

問

役場庁舎建設に係る調査特別委員会調査報告書が全会一致で可決された。「著しく適正に欠ける」「不適切な事務事業の執行」「極めて重い責任がある」という結論だ。ここまで費やした一億数千万円は、只見町における一年間の町民税に匹敵する。町長はどう責任を取るのか。

答

私には、責任があるとは思われない。反省すべきことはある。考えることは考える。



観光案内看板（宮沢地区）

次期町長選の進退は

答 今期をもって退任したい

問 町長の任期も残りわずかとなったが、今後の進退はどうされるのか。

答 2期8年が終わろうとしている。この間の8年間は、第6次振興計画に基づき、まちづくりを進めてきた。それが認められ、ユネスコエコパーク認定となった。その流れの中で、今後第7次振興計画に基づいて、今年度から新しい

まちづくりが進むわけだが、着実に進めていくためには、見識の高い新しいリーダーが必要と考えており、今期をもって退任することを決意した。

問 大変シヨッキングな内容であり、驚いた。

答 残りの任期を全うしたい。



議員 一 秀 国 新

豪雨災害の被害状況を示せ

答 件数について後程報告する

問 町民集団訴訟について、町長は裁判所に行ったことはあるか。

答 行ったことはない。

問 7月6日に裁判所から書類提出命令を求められたものがあるか。

答 裁判所からの命令はないが、そういう事実があったことこの記憶はある。

問 水害の被害調査表について、当時金山町では専門家を連れて一件一件調べたと聞く。当町でも専門家を連れて調査すべきと当時、私は何回も町に提言した。町は支援員を入れて調査しているとはつきり言っている。しかしながら、その調査が不十分であったのではという疑いが出ている。

当然あるべき調査表が全員分あるか。

答 ある分、ない分があるが、被害調査は実施したので、当然あるはずである。件数については、この場では把握していない。

問 当然あるべき資料であり、水害による被害状況を町が全て調査し、その内容を保存しておくことが当たり前である。全容を町が把握していないことはあり得ないので、後に資料として提出いただきたい。

答 係争中であるため、出せるものと出せないものがあるが、件数については把握しているはずなので、後程お知らせする。

※他に、「只見町庁舎建設だより第2号」について質問しました。



福島地方裁判所会津若松支部で現在係争中



すずき 鈴木 征 議員

庁舎建設経過を 町民に説明すべき

答 任期中に文書でお知らせする

問 目黒町長が3期目を目指されな
いことは極めて残念
だ。JR只見線全線復
旧と「自然首都・只
見」宣言による本町の
イメージアップ効果に
ついての評価をお聞き
したい。

答 JR只見線全線
復旧について
は、只見町を初めとす
る奥会津地域の地方創
生に絶対に欠かしては
いけない大事な資源で
あるという想いで、全
線復旧を目指し、地域
一丸となって取り組ん
でいただきたい。
「自然首都・只見」

宣言効果については、
町民一人一人が只見ら
しさの価値を見出し、
地域振興の実現に取り
組むことが大事であ
る。ユネスコエコパー
クの取組みは、今後も
進展していくものと思
っている。

問 2期8年間で、
様々な功績を
挙げた目黒町長が次期
町長選挙に出馬しない
のは、役場庁舎建設が
進展しない責任による
決意が理由か。

答 庁舎問題にけじ
めをつけること
が大きな課題だと認識
した決意である。次の

リーダーに引き継いで
いただき、しっかりと
取り組んでほしいと思
っている。

問 「役場庁舎建設
に係る調査特別
委員会」調査報告が議
決されたが、この内容
をどう受け止めている
か。

答 私も含め、議
会もこの問題
については当事者であ
り、町当局に向けた一
方的な報告書の印象を
受けている。庁舎問題
については、暫定移転
と新庁舎建設が同時並
行となる中で、新庁舎
建設に向けてのプロセ
スがごちゃごちゃにな
ったという想いがあ
り、残念であった。

問 残りの任期で、
役場庁舎建設に
ついて町民に対し説明
責任を果たすべきでは
ないか。

答 出直しになった
ことは、町民に

対し「建設日より」発
行により周知してい
る。

私が、3期目に出馬
しない理由は役場庁舎
建設だけではない。大
きな理由の一つではあ
るが、辞任と絡めての
説明は私の心理もある
ので微妙である。役場
庁舎建設に関する報告
は、今後の進捗状況を
含め、文書をもって町
民にお知らせしたい。



今期限りで退任を表明した目黒町長

ふるさと納税

企業版への取り組みは

答 有効な手段 内部協議を進めている

問

湯川村ではふるさと納税返礼品の米が一万俵の予約になったと聞いている。金額にして3億7000万で県内トップだ。そこで返礼品をどう選考しているのか伺う。

答

「自然首都只見」推奨産品と南郷トマト関連商品、それに只見産コシヒカ

問

りだ。実績は、米が213件、トマトが107件、トチ餅が55件である。

答

湯川村では、地域の特産品を一大消費につなげていく。只見町でももっと返礼品を多く募集し、活性化に利用すべきと思うがどうか。

問

者に委託しているため、発送に時間がかかったり、追加が思うようにできないが、町内での発送を検討し、特産品の消費拡大を図りたい。

「ふるさと納税企業版」がスタートした。個人向けとほぼ同じだが、返礼品がないこと、町が事業を申請し、国が認定するのが特徴。只見町の取り組み状況は。

答

活用を図りたいと考えており、具体的なプロジェクトの決定など内部協議を進めている。

問

今、只見町は厳しい人口減少など課題が多い。積極的に取り組み、「町を豊かに」すべきと考えるが、町長の考えを伺う。

答

有効な手段と思われ、積極的に取り組むべきと考えている。まずは、キチンとした事業の決定が必要。それに協賛企業、議員各位それに町民に提案をお願いしたい。



藤田 力 議員



JR只見駅の売店は只見の特産物がいっぱい

湯ら里の経営検討は、発足時と違う

答 三セク特有の課題、改善したい

問

町は、経営検討委員会を設置して湯ら里の経営状況の評価、改善策の検討、指導助言を受けた。この中で、資材の納入、町民雇用、町民利用の点で発足時とあまりにも違う。この報告書を元に町内第三セクターの統合・まちづくり会社を発足されるのか伺いたい。

答

報告書では、発足時と大きく違う点を指摘されている、これは全国の第三セクター特有の課題。この改善なくして経営改善は実現しないと考えている。ご理解とご協力をお願いしたい。



議員 鈴木 好 行 さん

U・Iターン希望者への 情報発信は

答 町のホームページ等で実施している

問 U・Iターン希望者への情報発信はどのように行っているのか。

答 人口対策として「U・Iターン等促進助成金制度」を今年度からスタートした。新たな支援制度を伝えるべく「おしらせばん」、町外者向け「町のホームページ」・「ハローワーク」への情報提供を行っている。

問 情報発信の効果は得られているか。

答 4月からこれまでに9名の実

績を得た。今後、より積極的な情報発信に取り組み、U・Iターンの実績向上に努めていく。

問 今後取り組むべき課題は何か。

答 U・Iターン者を増やすためには、雇用環境と住宅環境の整備が重要である。環境を整えながら、制度を活用して頂き、U・Iターンを促進していきたい。

スポーツパーク基本構想、 実施時期を示せ

答 財源対策を含め、進めていきたい

問 「スポーツパーク基本構想」において、事業の実施時期、実施順序はどのようになっているか。

答 町の地域課題を解決するためには、スポーツを切り口とした手法で取りまとめた基本構想である。各事業の実施時期は、改めて基本計画を策定し説明する。

問 サンドバレーコートの新設を計画しているが、需要はあるのか。

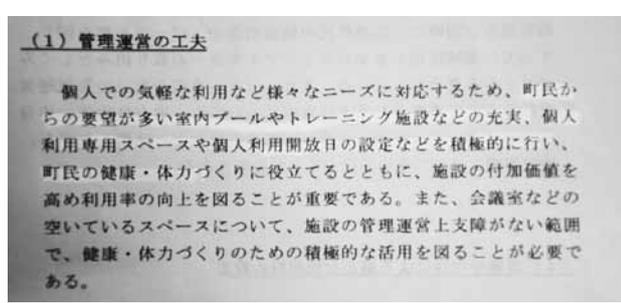
答 サンドバレーコートは地方創生の予算を活用し、先行して具現化した事業である。需要については、東京オリンピック

から正式種目になることもあり、合宿等による利用が期待できる。

問 町民からの要望がある、室内プールや、冬期間のトレーニング施設、グラ

ンドゴルフ等の事業を先行すべきと思うが、いかがか。

答 今回はすでに交付金申請を行っているため、変更は認められない。



スポーツパーク基本構想 (抜粋)



サンドバレーコート構想案

福祉商品券の復活を

答国の動向を見ながら検討

問 福祉商品券（福祉灯油）は、町民から大変喜ばれている制度だ。豪雪地帯の只見町において、お年寄りが暖かく過ごすために町が手立てをとることは、福祉施策として、また健康を維持していくうえでとても大切な施策だ。昨年度まで実施してきたものを中断することなく継続することを求める。

答 国の「年金生活者等支援臨時給付金」三万円の支給のほか、今後臨時福祉給付金が支給される。国・県の動向を注視しつつ、慎重に判断する。

問 国の臨時給付金があっても、高齢者の生活は厳しい現状にあり、寒さをしのぐために衣類を着込み大変な思いをして過ごしている方もいる。約三十ある基金（貯金）

は八年間で倍以上の約32億円増えている。財源はある。福祉商品券を制度化、条例化することを提案する。12月から復活する考えはないか。

答 様々な状況の高齢者の生活実態があり、暖かい冬を過ごしてもらいたいのは同じ思いである。国の動向を見ながら検討する。



議員 山岸 国夫

高齢者などの入浴料を無料に

答 福祉施策の在り方を総合的に判断する



町民に利用される「むら湯」浴槽

問 町民にとって、温泉施設は健康管理や交流の場としても大切な施設である。高齢者が健康を維持し長生きできるように、温泉施設の入浴料無料化を求める。

答 相当額の恒久的な財源確保ができれば実施困難。今後、住民福祉の向上、高齢者の健康増進、医療費の抑制効果、制度上の公平性の担保等、

様々な角度から検討する。高齢化が進むもとで、福祉施策の在り方を総合的に判断する。

問 冬場は入浴の時、寒暖の差で脳梗塞や心筋梗塞を起こしやすい。健康管理と温泉施設で人との交流で認知症予防にもつながる。入浴を町の総合的な福祉政策として位置づけることが大切。無料化に向け当面冬場だけやクーポン券・パス等様々な方法がある。取組を開始することが大事。

答 効果をどうしたら引き出せるか、制度的に検討・研究したい。



ブナりん

教えて！議会のこと

Vol.9



アカシヨウちゃん

二元代表制ってなあに？



イワッペ

只見町キャラクター ©Tadami



ブナりん 「二元代表制」って聞いたことがあるけどどういう制度なの？

議会運営委員長 住民が直接選挙で首長（町長）と議会議員を別々に選ぶ制度のことを

「二元代表制」っていうんだよ。この制度は憲法で定められているんだよ。

それに対して国政では直接選挙で選んだ議員で構成される議会が首相を指名し、その首相が内閣を組織する「議院内閣制」をとっているんだ。



イワッペ 「二元代表制」の良いところはなんなの？

議会運営委員長 町長や行政機関（執行機関）は予算や条例などの議案提出や人事などを提案し、議会に提出するんだ。議会は提出された議案を議決する役割なんだ。（議決機関）。そうやってお互いが抑制と均衡を図っているから、公正なまちづくりが期待できるんだよ。



アカシヨウちゃん じゃあ、問題点はないの？

議会運営委員長 さっきも言ったように、議会は「執行機関」を監視、評価するという役割があるんだ。

だから、お互いが仲良くなりすぎると、提出議案に全て賛成の「なれ合い議会」になってしまうし、対立しすぎると反対ばかりになって先に進まなくなる。町長と議会はお互いに、町民の安全としあわせを第一に考え、ある程度の距離を保ちながら、切磋琢磨していくことが大切なんだ。また、町長や議員がどんな考え方や意見をもって活動しているかを知ることにも有権者にとって大切なことなんだよ。

ブナりん 町長や議員を選ぶときは、良く考えないといけないね。

只見町議会中継は、
只見町議会ホームページから視聴できます。

<http://www.tadami.gr.jp/parliament/ustream.html>



只見町議会中継

検索



只見町って
なじよだや?

只見町の今とこれから



只見中学校 3年
横山 大輝

只見町には良いところがたくさんあります。それは、自然がきれいで、安全で、住みよいところです。ユネスコエコパークにも認定され、その自然はどこにも負けないと思います。

一方、課題もあります。それは、少子高齢化が進んでいることです。この課題を解決し、只見町を発展させるためにも、僕たち若い世代がこの只見町を背負っていかねばならないと思います。只見町の未来に向けて良いところは継続し、課題は一つ一つ解決していくことが大切だと思います。

只見町の魅力



只見中学校 2年
目黒 拓海

只見町の良さを皆さんは知っていますか。僕はたくさんある中から二つ紹介します。一つ目は、自然環境が豊かだということです。只見町には日本でも数少ないブナ林がたくさんあり、生き物も数多く生息しています。二つ目は、治安が良いことです。只見町では交通事故や犯罪などは、ほとんどなく安全な町だと思います。

今、只見町の人口は減ってきており、少子高齢化も進行しています。この先も、この町が心安らく町として残ってほしいです。

議会報告会を開催します

9月会議の審議結果及び議会活動を町民の皆さんに報告する「議会報告会」を開催します。町民であれば、どなたでも参加できますので、ご来場の上ご意見等お聞かせください。

- 10月24日（月）只見振興センター ※時間は、いずれの日も午後7時からです。
- 10月25日（火）朝日振興センター
- 10月26日（水）明和振興センター

議会中継が

インターネットでもご覧になれます

只見町議会は、動画共有サービス「Ustream」・「YouTube」を利用し、議会のライブ中継、録画配信を行っています。只見町議会のホームページで、いつでも、どこからでも見ることができます。「只見町議会」で検索してご覧ください。

お詫び

只見議会だより144号3ページに誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

(誤り) 西部環境衛生組合議会



(正) 南会津環境衛生組合議会

編集後記

議会だよりは「手にとって読んでいただく」ことを一番に考え編集しています。議会で行われる会議はとても大切な内容が多く、町民のみならず、にぎひ知っていただきたいことばかりです。難しい言葉はなるべく使わないようにして、町民に寄り添った誌面づくりを心がけています。議会だよりの編集用に、ちよつと良いカメラを購入していただきまして、「議会だより広報」という腕章も作りました。議会だよりが身近なものになるよう、町民のみならず、いきいきと活躍される場面をカメラに収め、表紙や記事の写真として使用します。イベントなどでカメラマンを見かけましたら、とびきりの笑顔をお願いいたします。(目黒道人副委員長)

発行責任者

議長 齋藤 邦夫

広報広聴常任委員会

委員長 目黒 仁也

副委員長 目黒 道人

委員 大塚純一郎

委員 中野 大徳

委員 山岸 国夫

委員 鈴木 好行